

(様式1)

整理番号

平成23年度 ノーステック財団「研究開発助成事業」
スタートアップ研究補助金 発展・橋渡し研究補助金
申 込 書

【 応募区分 】

事業名	補助金名	研究分野*
イノベーション創出研究支援事業	スタートアップ研究補助金	

※応募要領に記載の研究分野の中から、最も該当する分野を選択して記載してください。分野がまたがる場合は、該当する研究分野を代表的なもの順に記載してください。

【 研究開発テーマ 】

研究開発テーマ名	(30字程度)		
研究キーワード			
研究開発の概要 (150字以内・ <u>字数厳守</u>)			
研究開発テーマの詳細をコンパクトに取りまとめ、150字以内で表現してください。			

【 研究者又は研究代表者 】

(フリガナ) 氏名	年齢	所属機関名 / 役職名	
印	歳		
連絡先	(勤・自) 電話番号 ()	FAX番号 ()	E-mail :
共同研究者数	[産] 人、[学] 人、[官] 人 / 計 人		

【 他の助成制度での実施 (現在申請中のものを含む) の有無 】

※共同研究者として参画している場合も含む (複数回答可)

<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有			
<input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 申請中			
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	
<input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 申請中			
助成機関名		助成制度名	
研究テーマ名			
助成期間	平成 年 月～平成 年 月	助成金額	

(様式2)

【 研究開発テーマの詳細 】

研究開発の背景及び目的

当該研究開発を計画するに至った背景及び目的を、その必要性、解決すべき課題などを交えて記載してください。

研究開発の目標

当該研究開発終了時における成果の達成目標を、目標設定の根拠を含めて、具体的に記載してください。

研究開発の内容及び方法

当該研究開発の内容及び方法を、独創性、革新性などにも触れ、具体的に記載してください。

本研究に係るこれまでの研究蓄積

本研究開発の基となる、研究成果、技術シーズ、特許等を記載してください。また、これまでに本研究に関連した競争的資金などを利用した研究を実施している場合、その成果の概要を記載してください。

製品化・事業化の見通し

本研究開発成果を基として、今後どのような製品化・事業化の可能性があり、それがどのように産業及び地域に貢献するか記載してください（可能な限り定量的に表現してください）。

研究開発終了後の展開

本研究開発終了後、研究成果をどのように実用化につなげていくか、今後想定される共同研究先や、導入したい競争的資金などを含めて記載してください。

※研究体制に産（道内の企業）を含まない場合（F/S課題としての申請に限る）は、研究開発の終了後、北海道内のどのような産業・企業と連携して研究開発を推進するかを具体的に記載すること。

※様式2全体で、3枚以内で記載してください。

(様式3)

【 研究者又は研究代表者の詳細 】

(フリガナ) 氏 名		性別	所属機関名 / 役職名	
		男・女		
自宅住所			自宅電話番号	
〒			()	
所属住所			所属電話番号	
〒			()	
生 年 月 日		19 年 月 日 (歳)		
略 歴	年 月	(最終学歴)		
	年 月			
	年 月			
	年 月	現在に至る		
所属学会 (役職名)				
主たる研究・技術開発分野				
研究・技術開発キーワード				
<p>過去の研究・技術開発実績 (著書、研究論文、特許等)</p> <p>代表的な著書及び研究論文について、題名、発表誌、出版社名等を記載してください。特許等については、名称及び出願番号を記載してください(申請中を含む)。著者名が多数にわたる場合、数名を記載し以下を省略して下さい。その他、これまで行ってきた研究・技術開発に関して適当な著書、研究論文、特許について該当がない場合等は、その内容を記載してください。</p>				
<p>過去の補助実績</p> <p>過去3年間において省庁・自治体・その他助成機関等から補助金の交付を受けた研究について、交付年度、課題名、成果概要、省庁・自治体・機関名、制度名、補助金額を年代の新しい順に記載してください。</p>				

(様式4-1)

【 共同研究者（道内の研究者のみ記載してください。）】

共同研究者	(フリガナ)				年齢	歳
	職／氏名	印				
		E-mail:				
	所属機関名					
	所属住所等	〒				
		TEL		FAX		
	主たる研究・技術開発分野					
	研究・技術開発キーワード					
	(フリガナ)				年齢	歳
	職／氏名	印				
		E-mail:				
	所属機関名					
	所属住所等	〒				
		TEL		FAX		
主たる研究・技術開発分野						
研究・技術開発キーワード						
(フリガナ)				年齢	歳	
職／氏名	印					
	E-mail:					
所属機関名						
所属住所等	〒					
	TEL		FAX			
主たる研究・技術開発分野						
研究・技術開発キーワード						

(様式4-2)

【 外部協力者（道外の研究者、または、本研究開発に伴う指導・助言等の役割を担う方を記載） 】

外 部 協 力 者	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
		E-mail:						
	所属機関名							
	所属住所等	〒						
		TEL			FAX			
	主たる研究・ 技術開発分野							
	研究・技術 開発キーワード							
	(フリガナ)				年 齢	歳		
	職／氏 名	印						
E-mail:								
所属機関名								
所属住所等	〒							
	TEL			FAX				
主たる研究・ 技術開発分野								
研究・技術 開発キーワード								
(フリガナ)				年 齢	歳			
職／氏 名	印							
	E-mail:							
所属機関名								
所属住所等	〒							
	TEL			FAX				
主たる研究・ 技術開発分野								
研究・技術 開発キーワード								

(様式5)

【 共同研究における研究分担 】

所属機関名、研究者氏名	研 究 分 担

(様式6)

【 研究開発費の内訳 】

(単位 : 千円)

経費区分		助成対象経費	財団使用欄
機器装置等費	機器装置等 購入・製作費	千円	
	機器リース料	千円	
労務費	研究補助員賃金	千円	
調査研究諸費	原材料・消耗品 購入費	千円	
	旅費	千円	
	その他経費	千円	
合計		千円	

補助対象経費の積算内訳(経費区分毎に単価・数量・使用目的等を具体的に記載してください。)

<記載例>

合計:2,000,000円

・機器装置費: 計800,000円

機器装置等購入・製作費

〇〇攪拌機 : 200,000円×1式

△△検出器 : 600,000円×1式

・労務費 : 計320,000円

研究補助員賃金 200時間(1日5時間×)×1600円/時間

使用目的: 〇〇分析、◇◇データ解析の実験補助

・調査研究諸費: 計880,000円

原材料・消耗品 : 小計400,000円

▲▲実験用試薬 2,500円×40個

〇〇複合体の原材料 5,000円×20袋

◇◇培養用培地 15,000円×10個

プラスチック・ガラス器具類 50,000円×1式

旅費 : 小計260,000円

外部協力者招聘のため(東京-札幌): ¥100,000×1人回=¥100,000

学会出席のため(東京-札幌) : ¥80,000×2人回=¥160,000

使用目的: ▲▲関連学会・研究会等出席による情報収集および成果発表

その他経費 : 220,000円

△△輸送費(クール便) 1,000円×5回

◇◇分析試験一式 計200,000円

書籍: 〇〇解析関連専門書 5,000円×3冊

※書ききれない場合は、別葉としてください。

(様式7)

【 そ の 他 】

フリー・シートです。当該研究開発の重要性等について、指定様式で表現しきれなかった事項をご自由に記載してください(ただし、1~2枚程度とします)。

- e.g.
- ◆ 研究内容をポンチ絵にして、審査員の理解の助けとする。
 - ◆ 現在までの自己又は他の研究者の類似研究とその相異を明らかにし、今回応募した研究開発の独創性、実現可能性などを明らかにする。
 - ◆ 指定様式では欄が狭くて書ききれなかったものを追加で記載する。etc

(様式8)

【 研究成果説明書 】

本事業でフーズビリティ・スタディを実施した成果を活用した申請の場合のみ記載してください。
フーズビリティ・スタディの成果を、図表等も用いて簡潔に説明してください。記載方法は特に指定しません(ただし、1~2枚程度とします)。